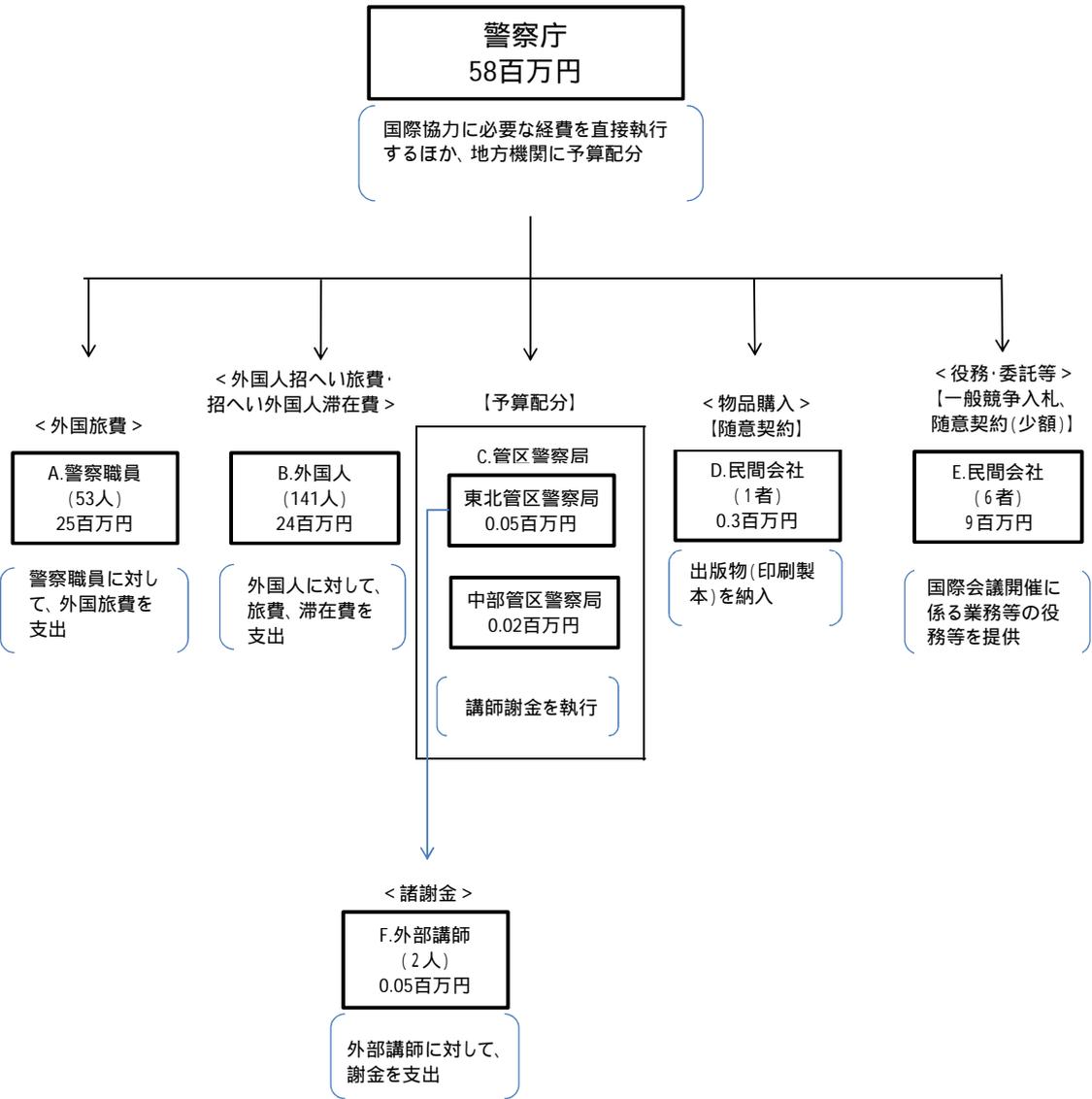


平成25年行政事業レビューシート (警察庁)

事業名	国際協力に必要な経費		担当部局	長官官房		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	-		担当課室	国際課		国際課長 徳永 崇			
会計区分	一般会計		政策・施策名	政策評価非対象					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	外国治安機関や国際機関等との緊密な連携を図るとともに、これら機関との円滑な情報交換を実施することにより、国際組織犯罪、国際テロ等世界各国共通の治安課題に対し、国際社会が協調して対応する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国際組織犯罪、国際テロ等世界各国共通の治安課題に対応するためには、国内における治安対策のみならず、外国治安機関や国際機関等との緊密な連携が必要不可欠であり、外国治安機関職員等との情報交換を円滑に行い、国際的な協力が効果的に行われるよう、各国内の治安の状況や課題、警察組織の在り方等について相互に十分な理解を示した上で、適切な協力の確保に向けた協議等を実施するため、外国治安機関への訪問や外国治安機関幹部の招へい等を行う。								
実施方法	直接実施	委託・請負	補助	負担	交付	貸付	その他		
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	予算の状況	当初予算	193	94	85	79	108		
		補正予算	0	0	0.03	0			
		繰越し等	0.3	0.3	0	0			
	計		193	94	85	79	108		
	執行額		118	67	58				
執行率(%)		61%	71%	68%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)	
	(成果目標) 各国共通の治安的課題等に対する国際協調の推進 (参考指標) 国際犯罪に関する情報の交換件数(ICPOLルート:件数は 暦年値)			成果実績	件	42,285	54,359	63,810	-
				達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	我が国から外国治安機関等への訪問等数及び我が国への外国治安機関職員等の招へい数			活動実績 (当初見込み)	訪問等数(人) (120)	77 (77)	53 (53)	- (38)	
				招へい数(人) (257)	125 (125)	141 (141)	- (86)		
単位当たりコスト	(外国治安機関等訪問) 464千円/人 (外国治安機関職員等招へい) 168千円/人			算出根拠	(外国治安機関等訪問) 訪問に係る全執行額(24,603千円)/訪問人数(延べ53人) (外国治安機関職員等招へい) 招へいに係る全執行額(23,700千円)/招へい人数(延べ141人)				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由					
	外国旅費	27	31	要求額のうち、「新しい日本のための優先課題推進枠」3百万円					
	外国人招へい旅費 招へい外国人滞在費	40	66						
	諸謝金	0.2	0.2						
	物品購入	1	1						
	役務・委託等	11	11						
計	79	108							

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			国際組織犯罪や国際テロ等に対応するためには、国際社会が協調して協力することが必要不可欠であり、このことは直接的及び間接的に我が国の治安の維持・向上に大きく貢献するものであることから、広く国民のニーズがある上、国が実施すべき事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。					
事業の効率性	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			支出先については旅費が大半を占めており不用率の大きい理由となっているが、競争入札等により選定しているものもあり、競争性の確保、経費の節減が図られている。また、国際協力の推進が、直接的及び間接的に我が国の治安の維持・向上に大きく貢献するものであることに鑑みれば、受益者との負担関係は妥当である。		
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。					
	受益者との負担関係は妥当であるか。					
	単位当たりコストの水準は妥当か。					
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。					
事業の有効性	費用・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			国際犯罪に関する情報の交換件数(成果実績)が増加していることから、当該活動は実効性の高い手段であるといえる。また、相互に交換した情報等(成果物)については、国際的な犯罪対策、技術協力等、国際協力を推進していく上で有効に活用されている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)					
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。					
重複排除	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。					
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)					
点検結果	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名	-		
	-	-	-			
	-	-	-			
点検結果	1 支出先・使途の把握水準・状況 物品購入・役務等については、警察庁において契約しているため、支出先及び使途について十分把握している。また、管区警察局に配分している諸謝金については、管区警察局から執行状況の報告を受けており、支出先及び使途を把握している。					
	2 見直しの余地 国際協力については、国際組織犯罪、国際テロ等世界各国共通の治安課題に国際社会が協調して対応していくためにも、引き続き、推進する必要がある。 経費の執行にあたっては、旅費については、割引航空運賃の利用、出張期間・出張人数の精査等による経費節減を図っているほか、物品購入、役務・委託等における契約についても、仕様書の見直しを行う等により競争性の確保を図り、効率的な執行に努めている。					
外部有識者の所見						
外部有識者の点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	おおむね具体的で十分な内容と認められる。					
	所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	特になし。					
	備考					
特になし。						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	当初1-7	平成23年	4	平成24年	4

平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.警察職員(53人)			E.(株)アイ・エス・エス		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
外国旅費	警察職員に対する外国旅費	25	委託	アジア・太平洋薬物取締会議開催に係る業務	7
計		25	計		7
B.外国人(141人)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
外国人招へい旅費、 招へい外国人滞在費	招へい外国人に対する旅費・滞在費	24			
計		24	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	警察職員	警察職員に対する外国旅費(延べ53人)	25		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	外国人	招へい外国人に対する旅費・滞在費(延べ141人)	24		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東北管区警察局	外部講師に対する謝金	0.05		
2	中部管区警察局	外部講師に対する謝金	0.02		
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ブルーホップ	ポリス・オブ・ジャパン2013の印刷に要する経費	0.3	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

E.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)アイ・エス・エス	アジア・太平洋薬物取締会議開催に係る業務	7	3	
2	(株)マイアソシエイツ	警察白書の翻訳	0.5	随意契約	
3	(株)サイマルインターナショナル	通訳業務	0.3	随意契約	
4	(有)アクアテック	国際携帯電話の借上	0.3	随意契約	
5	(株)フルインターナショナル	国際携帯電話の借上	0.2	随意契約	
6	インフォメディス西澤病院	予防接種(7種)の受診	0.2	随意契約	
7					
8					
9					
10					

F.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	外部講師	外部講師に対する謝金(延べ2人)	0.05		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

国際協力に必要な経費

事業概要

国際組織犯罪、国際テロなど世界各国共通の治安課題が山積

外国治安機関や国際機関等との緊密な連携、国際社会と協調した対応を図ることが必要不可欠
外国治安機関職員等との情報交換 各国内の状況や課題、警察組織の在り方等についての相互理解
適切な協力の確保に向けた協議等の実施

予算の内訳・事業の具体例

平成24年度関係予算(85百万円)

外国旅費 <28百万円>

諸外国との閣僚級会合の開催やG8、ASEAN、FATF等の枠組みで開催される国際会議等に参加

国際組織犯罪、国際テロに対する国際的な情報交換等により協力関係を強化

外国人招へい旅費等 <43百万円>

平成24年12月、トルコ警察幹部を招へいし、意見・情報の交換、交番、駐在所等の視察

我が国と招へい国相互の信頼関係の構築による人的交流の促進及び捜査共助・協力関係の強化

諸謝金 <0.2百万円>

管区警察局単位で部内通訳人に対する講習会等を実施

全国規模での通訳体制・通訳能力の維持向上を図り、国際捜査の体制、外国治安機関との協力関係を強化

物品購入 <1百万円>

日本の警察制度、国際協力の概要等をまとめた冊子「ポリス・オブ・ジャパン」を作成

日本警察への理解の促進、外国治安機関との国際協力及び国際交流を促進

役務委託等 <12百万円>

平成25年2月、アジア・太平洋薬物取締会議の開催

アジア・太平洋地域における薬物犯罪捜査の国際的な取組みを推進